

京都大学 総合人間学部オープンキャンパス

8月8日(木) 吉田南構内

2019

②相談コーナー 総合人間学部棟1102

時間 10:00~16:30

教員と先輩が受験勉強から大学生活まで何でも相談に乗ります。ざっくばらんな何でも相談コーナーです。総人の先生や先輩と話がしてみたい。そんな方も大歓迎です。気軽に足を運んでみてください。

④総人学部紹介コーナー(パネル展示) 総合人間学部棟

時間 10:00~16:00

総人の先輩が作ったパネル展示や、ビデオで総人を紹介します。ビデオは総人の先生方や現役総人生が生の声で学部のことを語ります。ぜひ、見に来てください。

④総人学部紹介コーナー(教員著書展示) 吉田南総合図書館

時間 10:00~16:00

教員著書展示を行っている吉田南総合図書館は、学部展示の場所とは少し離れていますが、総人の先生が執筆した多くの本を閲覧できます。この機会にぜひ著書を手にとってみてください。

⑤学生企画 I 総合館北棟北側 中庭 付近 II 総合人間学部棟 1階1102

時間 I : 12:30~13:30 II : 11:00~12:15/14:45~15:30

I. 京都大学各種団体の演技
京都大学の各種団体の演技です。間近で一緒に演技を盛り上げてください。出演予定は京都アカベラサークルCrazyClef、MTTR(ダブルダッチ)です。

II. 現役総人生による学部紹介
総合人間学部現役学生が、受験勉強・研究内容・就活・院進学・大学生活とは、などのテーマについて、プレゼン形式で紹介します。

タイムテーブル

企画	場所	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
①学部説明会・模擬講義	吉田南4号館3F 4共30教室			11:15~12:30		13:30~14:45			
②相談コーナー	総合人間学部棟1F 1102			10:00~16:30					
③研究室公開	吉田南構内 総合館・総人棟・人環棟・2号館・3号館の各研究室 集合場所: 人間・環境学研究科棟1Fピロティ			12:45(集合)13:00~14:00			15:00(集合)15:15~16:15		
④総人学部紹介コーナー	パネル展示: 総合人間学部棟 教員著書展示: 吉田南総合図書館			10:00~16:00					
⑤学生企画	I: 吉田南総合館北側 中庭付近				12:30~13:30				
	II: 吉田南総合館北棟2F 共北25, 26		11:00~12:15				14:45~15:30		

各企画への参加の例

〈例1〉 11:15~12:30	学部説明会	〈例2〉 11:00~12:15	学生企画
12:45~14:00	研究室訪問	12:25~	相談コーナー
14:45~15:30	学生企画	13:30~14:45	学部説明会
15:40~	相談コーナー	15:00~16:15	研究室訪問

2019 会場案内 吉田南構内

- ①学部説明会・模擬講義 → 道順
[4号館3F 4共30教室]
- ②相談コーナー
[総合人間学部棟1F 1102]
- ③研究室公開
(集合は 人間・環境学研究科棟1Fピロティ)
- ④総合人間学部紹介コーナー
[パネル展示: 総合人間学部棟]
[教員著書展示: 吉田南総合図書館]
- ⑤学生企画
[京都大学各種団体の演技: 総合館北棟北側 中庭 付近]
[現役総人生による学部紹介: 総合館北棟2F 共北25, 26]
- ⑥休憩場所
[総合人間学部棟]

総人受付
 バッグ配布場所
 お手洗い
 自動販売機
 飲食施設
 公衆電話

企画	場所	詳細	
①学部説明会・模擬講義	吉田南4号館3F 4共30教室	▶説明会A+模擬講義I <11:15~12:30> 講義テーマ:「自由意志の哲学」(青山 拓央 准教授) ▶説明会B+模擬講義II <13:30~14:45> 講義テーマ:「運動がうまくなる方法を本気で考える」(久代 恵介 教授)	
②相談コーナー	総合人間学部棟1階1102	<10:00~16:30>	
③研究室公開	【吉田南構内 総合館・総人棟・人環棟・2号館・3号館の各研究室】	第1クール <13:00~14:00> (12:45集合) 第2クール <15:15~16:15> (15:00集合)	
人間科学系	倉石 一郎 教授 木下 千花 准教授 戸田 剛文 教授	教育学	人環棟5F 525
		映画研究	東南棟3F 304
認知情報学系	齋木 潤 教授 木坂 正史 准教授	哲学	東南棟4F 405
		認知科学、視覚科学	人環棟2F 203 (研究室) 人環棟2F 202 (実験室)
国際文明学系	西山 教行 教授 土屋 由香 教授	数学(力学系理論)	人環棟2F 226
		言語教育学、フランス語教育学、言語政策、フランコフォニー	総合館共南2F 216
文化環境学系	長谷川千尋 准教授 池田 寛子 准教授	アメリカ研究・アメリカ史(特に冷戦史)	総合館共南2F 221
		日本語学	総合館共南3F 326
自然科学系	岡 真理 教授 中嶋 節子 教授	英文学・アイルランド文学	総合館北棟4F 4122
		現代アラブ文学/パレスチナ問題	総人棟1F 1104
自然科学系	山村 亜希 教授 木下 俊哉 准教授	建築史・都市史	人環棟4F 421
		人文地理学・歴史地理学	人環棟4F 437
自然科学系	津江 広人 教授 瀬戸口浩彰 教授	物性物理学実験	吉田南3号館2F 204
		有機化学	人環棟5F 502
自然科学系	酒井 敏 教授	側粒の系統進化	吉田南3号館3F 302
		地球科学	吉田南2号館4F 406-1
④総人学部紹介コーナー (パネル展示・教員著書展示)	パネル展示: 総合人間学部棟 教員著書展示: 吉田南総合図書館	<10:00~16:00>	
⑤学生企画	I: 吉田南総合館北側中庭付近 II: 吉田南総合館北棟共北2F 25, 26	学生企画 I : 京都大学各種団体の演技 <12:30~13:30> 学生企画 II : 現役総人生による学部紹介 <11:00~12:15/14:45~15:30>	

各企画とも自由参加となります。ただし、それぞれの企画で収容限度数を超えた場合は、事前に参加の意思表示を頂いても、先着順により受け付けますので、他の企画・他の時間帯へ変更いただく場合もあることをご了承願います。また、「学部説明会・模擬講義」、「研究室公開」については、受験志望される方を対象として企画されたイベントのため、引率の方がご参加いただくことはできません。なお、文系・理系を問わず他の学部参加者もご参加いただけます。

※原則、クールごとの総入替としています。各研究室・実験室で2クールに分けて公開しています。各クールの内容は同じです。各クール開始の15分前に集合場所(裏面「会場案内」参照)に集合してください。参加希望の研究室は、収容限度数により調整させていただくことがあります。

①学部説明会 学部長と各学系主任による説明会です。 吉田南4号館3F 4共30教室

時間 A : 11:15~12:30 (後半部は模擬講義 I)
B : 13:30~14:45 (後半部は模擬講義 II)



杉山 雅人 学部長

総合人間学部は京都大学で最も新しい学部です。文系から理系にわたる多種多様な教育研究領域を有しています。哲学や歴史など我々の文化や社会に関わることから、認知・身体運動や地球環境などの人体や自然を扱うものまで、幅広く深く学ぶことができる学部です。必ずや、皆さんの興味を引いてやまない領域がいくつもあると思います。模擬講義ならびに研究室公開に参加して、それを実感してください。

卒業後は、大学院進学や、官公庁・製造業・マスコミ・国際機関などへ就職して、学界・官界・実業界のあらゆる場で多くの卒業生が優れた活躍をしています。

① 模擬講義

総合人間学部の講義を聴いてみて下さい。普段の講義より時間は短いですが、大講義室で行われる大学の講義を実際に体験してみてください。 [吉田南4号館3F 4共30教室](#)

模擬講義Ⅰ

人間科学系
自由意志の哲学
青山 拓央 准教授
(哲学)



「人間と人間をとりまく世界とを総体的に捉えていく」。総合人間学部の便覧にこう記されているのですが、それは具体的にどのようなことなのか、在籍生たちも悩んでいるようです。そこで小さな具体例として、この哲学の模擬講義では、「自由意志」について総体的に考えます。物質としての身体や脳、そして自然界のなかには、「あれか、これか」を自由に選べる意志が存在しないように見えます。他方で、人間の心理や社会は、自由意志の存在を重視しています。これをたんなる矛盾ではなく統合的に理解する道を、分野の壁にこだわらずに探ります。



模擬講義Ⅱ

認知情報学系
運動がうまくなる方法を本気で考える
久代 恵介 教授
(行動制御学・運動パフォーマンス)



運動がうまくなるためにはどのような練習をおこなえばよいのでしょうか？本講義では、運動技能を洗練させていく過程で必要とされる考え方や手法について、運動科学やスポーツ心理学の視点から考察します。また、一流スポーツ選手にみられる思考・行動パターンから上達のコツを探っていきます。

③ 研究室公開

研究室（実験室）を訪れ、大学の研究室の雰囲気や先生方の研究の様子を感じとって下さい。※各クール集合時間に人間・環境学研究科棟1階の研究室公開集合同所（ピロティアー）に集合してください。 [総合館・総人棟・人環棟・2号館・3号館の各研究室](#)

人間科学系 教育学

倉石 一郎 教授
人環棟5F 525



教育に対してはさまざまな学問的アプローチが可能ですが、私たちの研究室で重視していることは、まず、教育の現実即して捉えることです。どうあるべきか考える前に、あるいはそのためにも、現場で何が起きているか、起こってきたかを掴まえることがとても大切です。そのためのもっと重要な手法が社会調査ですが、最近私は、文学や映画などに描かれた学校や教師の表象(ひょうしょう)分析に可能性を感じていて、その面白さを伝える著書『テキストと映像がひらく教育学』を刊行しました(左の画像参照)。また、教育という場の中心でなく隅の方に追いやられがちな存在、すなわちマイノリティの視点を重視するのこの研究室の特徴です。

人間科学系 映画研究

木下 千花 准教授
東南棟3F 304

映画研究というと馴染みのない方も多いかも知れませんが、文学研究や美術史と比較的似たような問題関心や方法論で、映画やアニメーションにアプローチすると考えて下さい。最近ではオンラインの動画やゲームに関心を広げている研究者もいます。私は日本映画史を専門にし、無声映画から音声がついた「トーキー」への移行、ジェンダーやセクシュアリティ、検閲などの問題について研究しています。

人間科学系 哲学

戸田 剛文 教授
東南棟4F 405



知識とはどういうものかということについて研究してきました。「知っている」という言葉は、誰もが使ったことがある言葉だと思いますが、それがどういうことなのかということを考えている人は少ないと思います。また最近では、犬と暮らしたことをきっかけに、動物と人間関係なんかも研究しています。僕自身総合人間学部出身なので、なにか聞きたいことなんかありましたら遠慮なく聞いてください。

認知情報学系 認知科学、視覚科学

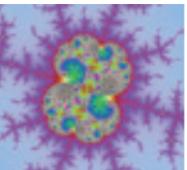
齋木 潤 教授
人環棟2F 203(研究室)
人環棟2F 202(実験室)



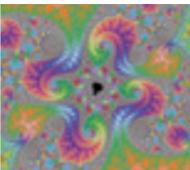
齋木研究室では、物体やシーンの認識、視覚情報の短期記憶、視覚意識、視覚的注意、視覚認知の文化差、探索行動と意思決定、集団意思決定などを行動実験、眼球運動測定、脳波測定、fMRIなどを組み合わせて実験的に研究しています。当日は、認知科学の研究がどのように行われるのかを知っていただけるように、これらの実験の一端を体験していただけるデモや各種実験装置の紹介を行う予定です。

認知情報学系 数学(力学系理論)

木坂 正史 准教授
人環棟2F 226



力学系理論とは「時間と共に変化していくもの」を数学の言葉で抽象的に定式化し、それを様々な角度から考察する、という分野です。典型的には「適当な集合XとX上の点を動かす規則fを与え、初期点pをとってそれをfで何度でも動かす」ということを考えます。特にXを複素平面、fを正則関数(例えば2次関数)としたものは複素力学系と呼ばれますが、この力学系の研究では非常に複雑で怪しげな集合が色々と現れます。このような集合の「形」(位相的性質)について興味をもって研究しています。



認知情報学系 言語教育学、フランス語教育学、言語政策、フランスコフォニー

西山 教行 教授
総合館共南2F 216



言語政策とはなにか。皆さんは「言語」と「政策」という用語はそれぞれ知っていると思いますが、この二つを組み合わせた概念については耳にしたことがないかもしれません。本研究室は、「言語政策」とは何かを明らかにし、学校生活のなかになどどのように入り込み、高校生の学習にも関わっているのかを考えてみたいとおもいます。

国際文明学系 アメリカ研究・アメリカ史(特に冷戦史)

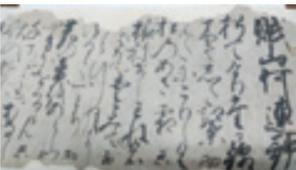
土屋 由香 教授
総合館共南2F 221



アメリカ研究は幅広い学際的な学問分野ですが、中でも私の専門は歴史学系です。「外交」の背景にある複雑で多様な人間社会の営みを扱う研究を行っています。オープンキャンパスでは、実際に研究に使っている外交文書などの一次資料を見ながら、冷戦期アメリカの対アジア外交に関する実証研究の魅力に触れていただきます。また、公文書だけではなく、聞き取り調査の現場映像も上映します。

国際文明学系 日本古典文学

長谷川 千尋 准教授
総合館共南3F 326



京都は日本の古典文学を学ぶには最良の地ですが、京都大学はまた日本屈指の古典籍の宝庫でもあります。実は皆さんが学んでいる古文の文章は、これが正しいという判断のもとに復元され、読みやすいように加工された、言わばどこにも存在しない本文です。その出所は、くすし字で書かれた写本や版本です。研究室訪問では、実際に和装本を手にとってご覧いただきながら、大学で学ぶ国文学とはどのような学問なのかについてお話ししましょう。

国際文明学系 英文学・アイルランド文学

池田 寛子 准教授
総合館北棟4F 4122



文学研究者として、英語やアイルランド語の詩や物語を研究しています。文学を通じて、世界各地の研究者たち、そしてイギリス・アイルランドの人々と親交を結んできました。一篇の詩や歌の背後にも歴史や物語があります。時代や言葉の違いを越えて心に響く詩の朗読や歌を聴き、訪れてくださった皆さんと共に鑑賞し、深く読み解きます。ノーベル文学賞詩人たちの作品や発言に触れ、言葉の力を体感してください。

文化環境学系 現代アラブ文学/パレスチナ問題

岡 真理 教授
総人棟1F 1104



「パレスチナ問題」を現代世界に生きる人間(つまり私たち)の思想的課題として研究しています。パレスチナ問題には、レイシズム、植民地主義、難民、民族浄化、ネイション・ステイト、アイデンティティ…など、現代思想の重要な諸テーマがぎっしり詰まっています。そんな《パレスチナ》問題を知ることで、近現代の世界とその歴史のありように対する批判的視座を得ることができます。今回は、国際法に違反する完全封鎖が11年以上にわたり続いているガザの問題について、みなさんと語りあいたいと思います。

文化環境学系 建築史・都市史

中嶋 節子 教授
人環棟4F 421



都市と建築の歴史と現在を扱う研究室です。都市の骨格となる街区、街路、水路、そしてその上に建つ建築、さらには都市の周囲、内部にある自然がいかに形成されたのか。それらによってかたちづくられる環境や景観はどのようなものであったのか。その歴史的経緯と現在への接続を社会的・文化的背景や技術、思想などさまざまな側面から研究しています。歴史的環境の保全も研究テーマのひとつです。研究室の活動と学生達の研究成果を紹介します。

文化環境学系 人文地理学・歴史地理学

山村 亜希 教授
人環棟4F 437



歴史地理学とは、過去の地理を読み解く学問です。特に日本の城・城下町や港町などの「かたち」を地図上に復元し、その意味を考えています。地理学独自の研究方法が、地形図や古地図とじっくり向き合い、そこに自然環境と人間社会の関係を見出す「読図」です。大学の研究室には、江戸時代の古地図や、明治から現代までの様々な時期の地形図が所蔵されています。このような読図やフィールドワークを通じて、地域の文化財や政策も考えています。オープンキャンパスでは、一緒に新旧地形図の読図をしてみましょう。

自然科学系 物性物理学実験

木下 俊哉 准教授
吉田南3号館2F 204



秒速数百mで飛びまわる原子をレーザー光で減速(冷却)、さらに捕獲(トラップ)します。最終的には絶対零度近くまで冷却された原子集団を、レーザー光で自在に操作し、物性物理学の基礎的な実験に役立てています。こうした原子気体は「宇宙で最も冷たい物質」と言われており、それが宇宙の片隅のちっぽけな実験室のテーブル上にある装置で生成できるので、その生成方法や冷却原子気体を用いた研究例を紹介したいと思っています。

自然科学系 有機化学

津江 広人 教授
人環棟5F 502



有機化合物の結晶が示す分子認識現象について研究を行っています。具体的には、温室効果気体として知られる二酸化炭素を選択的に捉えるような新しい有機化合物を合成し、その結晶の各種気体分子に対する親和性を実験的に評価するとともに、その親和性の発現メカニズムを研究しています。オープンキャンパスでは、二酸化炭素を認識する有機結晶の開発過程を紹介するので、私達の実験室で「有機化学」の面白さに触れてみませんか。

自然科学系 側粒の系統進化学

瀬戸口 浩彰 教授
吉田南3号館3F 302



植物の系統分類学や系統地理学を基盤とした進化多様性に関する研究を行っています。地球上の様々な場所に生息する生物種が、どのような歴史的経緯を辿って、現在の分布に至ったのかについて、主にDNAデータの解析から明らかにしていく研究領域です。また、系統地理学の結果に基づいて、地域ごとの環境に植物が適応進化していくメカニズムを明らかにする研究を行っています。絶滅に類した植物種の保全研究も環境省などと一緒に進めています。

自然科学系 地球科学

酒井 敏 教授
吉田南2号館4F 406-1



研究とは「人がやらないことをやること」です。そのための立派な装置や設備はありません。研究とは「わからないことをやること」です。綿密で立派な研究計画を立てられるわけがありません。だから研究とは、行き当たりばったりで、一見みずぼらしかつたりします。必ずしもカッコいいもんじゃありません。でも、それが本当の研究の楽しさなんです。そんな楽しさをちょっと覗いてみてください。